

議事録	
件名	令和2年度第4回 久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会
日程	令和2年10月30日(金)～令和2年11月6日(金)
参加者	松本会長、古村副会長、岡委員、杉本委員、真木委員、中原委員、今里委員、柴田委員、重永委員、山田委員、濱本委員、永江委員、後藤委員、吉永委員、縄崎委員、岩坂委員、永野委員、古賀委員、豊福委員、中園委員、佐藤委員
次第	1. 協議事項(1)第8期計画骨子(案)について 2. 報告事項(1)介護サービス基盤の整備及び保険料について (2)今後の計画策定スケジュールについて
意見	1. 協議事項 (1)第8期計画骨子(案)について
委員	新たに「分野横断的」な視点を設定するとあります。「縦割り行政」から脱皮しようとする考え方には賛同致しますが、具体的な関係性が見えないので今後の議論待ちと致します。
委員	今年新型コロナウイルスの感染拡大という問題が発生し、現在も終息の見通しが立っておりません。この状況の中で、第8期計画にはこの点を考慮した内容は含まれているのでしょうか。今迄のような状況や常識では考えられない問題が散見されているかと思えます。
委員	地域での人とのつながりが希薄になる一方で、この状況は今後一層進んでいくと思います。年々増加傾向にある災害に対する避難についても、相互の助け合いがないと避難するにもできず、命を落としたりするケースも一層増えていくと思います。このように厳しい状況での計画を考案していくのは大変かと思いますが、私たちにお手伝いができることがあれば、いつでもお申し出頂きたいと思います。
委員	第7期計画期間における課題(資料1P.7～P.9)について、結果を出されている。 ○前回のアンケートがあれば、その比較を行ってみたいはいかがでしょうか？介護予防等の取り組みに対してのアセスメントになると思います。 ○利用者インタビューをデータとして入れ込む事は、大変良い事と思います。その結果を読むと、「利用者自身の自助が向上している」「介護予防重要性を理解している」と分かる。反面、「参加する場所」「活躍できる場所」が不足している。その点において、8期でのアクションプランはどうでしょうか？
委員	○第1部総論 第1章 3 他の計画等との関係の<イメージ図>の中に「久留米市男女共同参画行動計画」を入れること。 ○第1部総論 第2章(1)高齢者人口・高齢化の状況と将来推計(2)要介護認定者の推移の表は「男女別」の票を追加すること。 ○第3章基本方針 P.11 2.分野横断的な視点の(1)～(7)に「災害や感染症への備え」を入れること。 理由:P.12の基本方針にせっきやく(新規)に入っているので、視点の中でも触れたほうがよい。
委員	○認知症・MCIへの早期気づきがあっても、その後の対応がなく、不安になるだけ。個々に対応していくことが必要なのではないか。 ○高齢者の免許証返納等もあり、生活圏域への移動方法を考えて欲しい。
委員	国民年金受給者が安心して入所できるような施設等、今後課題として検討いただきたい。
委員	あらゆる方向から考慮され、内容の充実感も見られ大変良いと思う。 ただし、計画が多岐分野で広範なため、実行する側としては、人・物・金が必要。そこで、最少の資金で最大の効果を上げることが大切である。 各自自治体でのボランティア体制の確立が求められる。
委員	計画骨子はすばらしいと思います。骨子ですから、内容は概念的・インデックス的にならざるを得ませんが、これを実施・行動に移す、本当に動ける詳細計画はもっと重要と思います。総花的に骨子が書かれていますが、重点施策・項目に特に集中し、本当に市民から良くやっているとされるような久留米市であって欲しい。 高齢者の多くは日常家に閉じこもっています。何とか外に出させる、出てもらう仕掛け、特に場所・容れ物。空き家の利用でも良いので、先ずハードを用意し、ソフトはいくらでも皆持っていますし、人さえ集まれば何とかあります。プログラムもいらぬし、歌を歌ったり、井戸端会議をしたり、寄り添えば楽しくなります。

2. 報告事項

(1) 介護サービス基盤の整備及び保険料について

委員

○介護サービス基盤については、7期の施設の整備によりほぼ需要を満足しつつあると考えます。今後は、在宅におけるサービスの需要に対応した施策が必要と思われれます。
○介護保険料は、現保険料率がそろそろ限界だと考えます。(特に低所得者にとって) 給付の適正化も重要になってくると考えます。

委員

施設整備を行い、効果はいかがでしょうか？

委員

医療療養病床からの転換がなぜ介護保険料増の要因になるのか。

委員

各種施設等、市全体で地域平等にあるべきではないでしょうか。

(2) 今後の計画策定スケジュールについて

意見なし